

日本ヒューマンヘルスケア学会第2回学術集会

プログラム

(学会ホームページ掲載、20180905現在)

ご挨拶

一般社団法人 日本ヒューマンヘルスケア学会 第2回学術集会 開催概要

第2回学術集会に参加される皆様へのご案内

座長・発表者の皆様へのご案内

会場案内

会場別日程表

プログラム

講演・シンポジウム・共催セミナー

一般演題(口演)

一般演題(示説)

第2回学術集会運営組織

共催の法人・企業一覧

ご挨拶

一般社団法人 日本ヒューマンヘルスケア学会
第2回学術集会会長

安藤 純子

(人間環境大学看護学部／大学院看護学研究科 教授)

この度、一般社団法人 日本ヒューマンヘルスケア学会第2回学術集会会長を仰せつかりました人間環境大学高齢者看護学領域の安藤純子です。

そもそもこの学会は、「社会の中で生活する人のヘルスケア」について、人の研究にかかわる学際的研究や実践活動から得られた知見を互いに交流して良質なヘルスケアの実践になるようにという思いから設立されています。

多くの方にご参加いただき第1回は終了しています。今回のテーマは、「自分らしく生きる“を支えるケアといたしました。一人の人間が生きていくためには、多くの職種の関りが必要です。それは、入院にかかわらずだと思います。多職種間の連携が、とても大切です。人にかかわる多くの職種の方と交流を深めることで、小集団ではなく広い地域の方と良いケアを行うための方法論、開発などを模索し、行っていきたいと考えます。

日頃の成果、また現実に今解決したい点など、多職種での意見交換を行ない研鑽できたらと考えます。そのためにも、特別講演、教育講演では、今後、必要不可欠と考えられる内容を計画し協力を得ました。またシンポジウムでは、いろんな立場から日頃の具体的なご意見を頂く予定にしております。貴重な内容であり、ご意見ですので、是非参加してください。

今後、さらに質の高いヘルスケアが提供できるよう、私たちが生きやすい生活環境となりますように、多くの会員の方のご参加をお待ちしております。

一般社団法人 日本ヒューマンヘルスケア学会

第2回学術集会開催概要

会 期：平成30年9月30日(日) 9時30分～17時30分(受付開始8時45分)

会 場：人間環境大学大府キャンパス(愛知県大府市江端町3丁目220番地)学術集会

会 長：安藤 純子 (人間環境大学看護学部/大学院看護学研究科 教授)

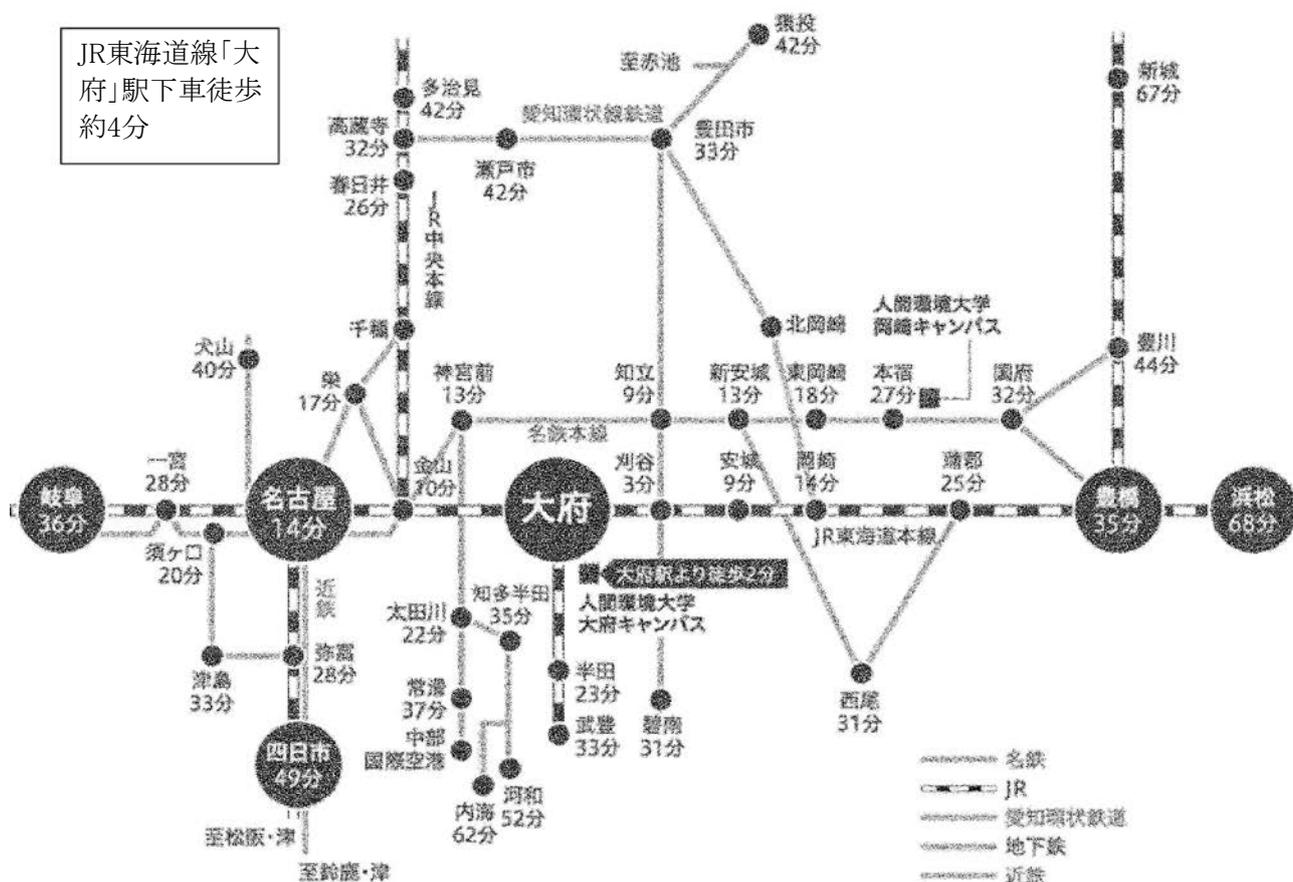
テーマ：“自分らしく生きる”を支えるケア

参加費：会員:3,000円、非会員:6,000円

会場までのアクセス:

人間環境大学 大府キャンパス <http://www.uhe.ac.jp/guide/access.html>

〒474-0035 愛知県大府市江端町3丁目220番地 TEL 0562-43-0701(代表)



- ・大府駅の改札を出て左(西口)に進み、陸橋を直進します。
- ・右前方に人間環境大学の屋上に大学の看板がみえます。
- ・突き当たりの右手階段を下りて、道なりに歩いてください。
(または、エレベータで1階に降りて左手方向に歩いてください)
- ・右手に豊田自動織機がみえます。
- ・道なりに歩いて約2分、右手が会場です。



第2回学術集会に参加される皆様へのご案内

1. 受付について

総合受付:1階ラウンジ [F会場]

受付開始:平成30年9月30日(日) 8時45分

2. 参加費について

学術集会参加者の方は、1F[F会場]の参加者受付で参加費をお支払いください。

受付終了後、参加証、領収証をお渡しいたします。

会 員 3,000円

非会員 6,000円

*上記参加費は、障がい者の方の付き添い(介助者)は無料です。

3. 会場の駐車場について

会場には駐車場はございません。公共交通機関でのご利用をお願い致します。

4. 荷物のお預かりについて

お荷物の預かり場所(クローク)がございませんので、お荷物は個人で管理をお願い致します。

万一、お荷物の紛失がございましたも当学会では責任を負えませんことをご了承ください。

5. 会場内の写真撮影について

会場内の写真撮影等は禁止しておりませんが撮影した写真等を不特定多数に配信されたい場合は、発表者等の許可を得てください。また、ご自身の研究発表(口演スライドや示説掲示物など)の写真撮影等を禁止されたい場合には、その旨をスタッフにお伝えください。

6. 立ち入り禁止場所について

会場建物の7F、8Fは立ち入り禁止となっています。

7. 会場内での飲食について

会場内の飲食は決められた場所をお願いいたします。受付でご提示いたします。

大学及び大府駅周辺にはコンビニエンスストア・飲食店が少しございますのでご利用ください。

8. 災害時

地震・火災などの災害時には、スタッフが誘導いたしますので、誘導に沿って速やかに非難をしてください。災害時には、エレベータを絶対にご使用せず、階段をご利用ください。

9. 社員総会について

時間:13時20分~14時00分

場所:3F[A会場]大講義室

10. 情報交換会について

時間:18時00分~19時30分

場所:1F[F会場]Tラウンジ

参加費:会員、非会員ともに2,000円

当日、1F[F会場]の参加者受付にてお申込みをお願いいたします。

皆様のご参加を学術集会主催者一同お待ちしております。

座長・発表者の皆様へのご案内

1. 座長の皆様へ

- (1) 1F[F会場]で参加者受付をすませ、3F[B会場]の「座長受付」へお越しください。
- (2) ご担当の1時間前には[座長受付]にお越しください。また、発表開始時刻10分前には会場の「次座長席」にご着席ください。
- (3) 一般演題の発表時間は、口演が1演題10分(発表7分、質疑応答3分)です。示説は1演題7分(発表5分、質疑応答2分)です。
- (4) 質疑応答では、質問者に所属・氏名を述べ、発言するようにご対応ください。

2. 特別講演、教育講演、シンポジウムの発表者の皆様へ

- (1) 1F[F会場]で参加者受付をすませ、3F[B会場]の「講演・シンポジウム発表者受付」へお越しください。
- (2) ご担当の1時間前には[講演・シンポジウム発表者受付]にお越しください。
- (3) 講演発表データの受付は、発表1時間前までにおすませください。
- (4) 講演でご使用の会場PC上の発表データは、閉会時に事務局により一括消去を致します。
- (5) 講演発表者は、講演開始時刻10分前には「次演者席」にご着席ください。
- (6) 講演時の進行は座長の指示に従ってください。

3. 一般演題(口演)発表者の皆様へ

- (1) 1F[F会場]で参加者受付をすませた後に、同じ会場の「発表者受付」にお越しください。
- (2) 口演発表データの受付は、発表1時間前までにおすませください。
- (3) 演題でご使用の会場PC上の発表データは、閉会時に事務局により一括消去を致します。
- (4) 演題発表者は、発表開始時刻10分前には「次演者席」にご着席ください。
- (5) 口演時の進行は座長の指示に従ってください。
- (6) 口演発表時間は、1演題10分(発表7分、質疑3分)です。時間厳守でお願いします。
- (7) 追加または訂正資料がある場合は、当日、各自で会場に持参し、当該演題の発表会場で追加/訂正資料をご自身で配布して下さい。

*会場に準備するPCのOSは、Windows 10 Home (64ビット)またはWindows7 Pro (32ビット)、アプリケーションソフトは、Microsoft Office2010 (Word, Excel, PowerPoint)です。
Macを使用の場合は、VGAまたHDMIへの変換アダプターが必要となりますのであわせてご持参ください。

4. 一般演題(示説)発表者の皆様へ

- (1) 1F[F会場]で参加者受付をすまされた後、11時00分までに「発表者受付」にお越しください。
- (2) 「発表者受付」終了後12:00までに示説会場([E会場]実習室(6F))の発表者の演題番号が貼られた指定パネルにポスターを貼付してください。貼付用の画鋏は、各パネルに備え付けてあるものを使用してください。
- (3) 発表時の進行は座長の指示に従ってください。発表時間は1演題7分(発表5分、質疑2分)です。時間厳守でお願いします。
- (4) パネルの貼付物は、16:30までに撤去し各自でお持ち帰りください。時間内に撤去されなかった場合には、事務局にて撤去・処分させていただきます。

*発表者は準備したポスターを所定の位置に各自で掲示してください。
ポスターの大きさは A0 用紙サイズ(縦1189mm×横841mm(A3判横置きで8枚))です。
演題番号を表示するためにパネル左上のスペースA5 サイズの1/2(74mm×105mm)は空けておいてください。事務局で演題番号を貼ります。

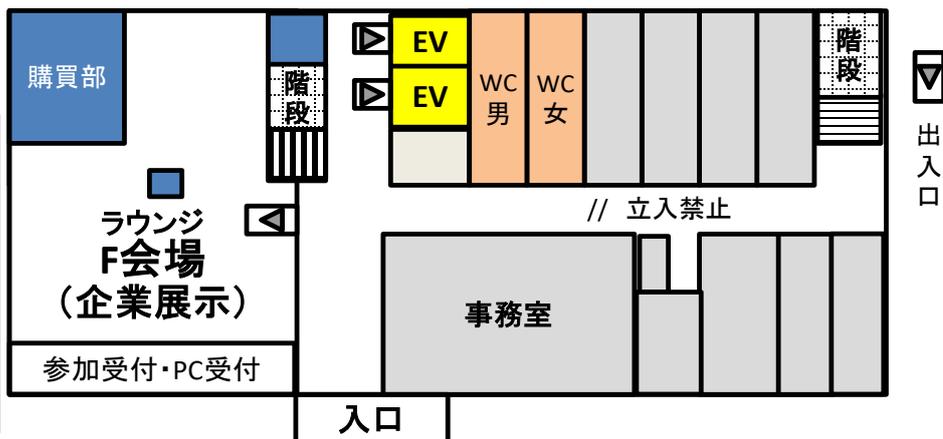
5. 共催セミナー(ランチョンセミナー)

先着100名様には昼食をご用意しております。学術集会参加受付時にご案内させていただきます。

会場案内

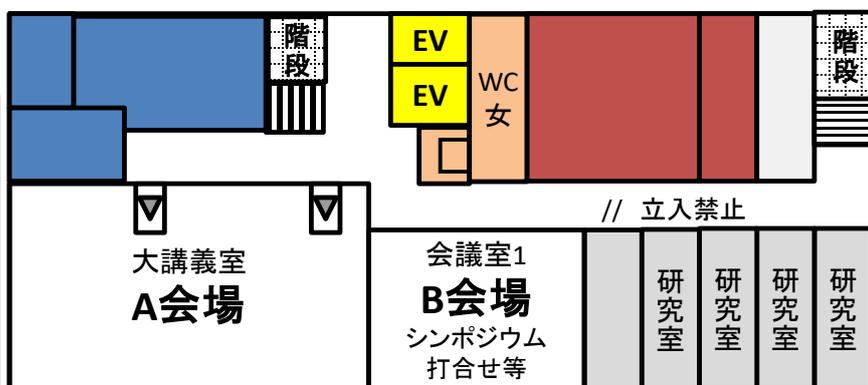
1F

- F会場 ラウンジ**
- ・参加費受付
 - ・情報交換会受付
 - ・一般演題受付
 - ・PC受付・示説受付
 - ・企業展示
 - ・喫茶コーナー
- 17:40～
- ・情報交換会



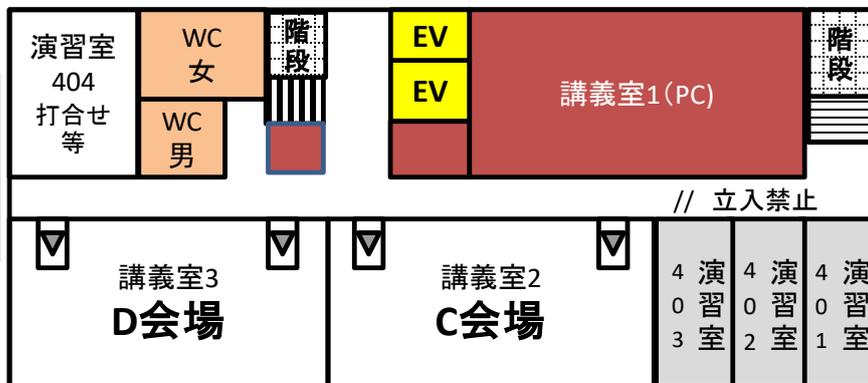
3F

- A会場**
- ・特別講演
 - ・教育講演
 - ・シンポジウム
- B会場**
- ・講演・シンポジウム
 - ・発表者受付
 - ・座長受付



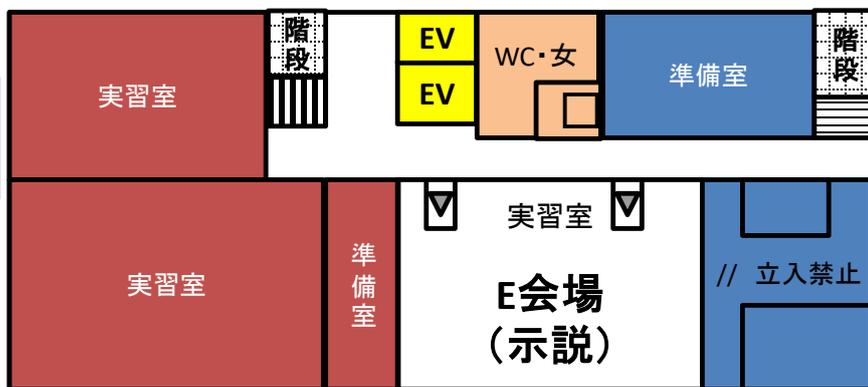
4F

- C会場**
- ・演題発表(口演)
- D会場**
- ・演題発表(口演)



6F

- E会場**
- ・演題発表(示説)



*2F、7F、8Fは立ち入り禁止となっています。

会場別 日程表

時間		A会場 3F 大講義室	B会場 3F 会議室 1	C会場 4F 講義室 2	D会場 4F 講義室 3	E会場 6F 実習室	F会場 1F ラウンジ
9	00		【演者受付】 ・特別講演 ・教育講演 ・シンポジウム 【座長受付】 ・講演 ・一般演題			一般演題(示説) ポスター貼付開始	【受付】 参加者受付 一般演題受付 ・口演受付 ・示説受付 【企業協賛】 企業展示 喫茶コーナー
	30	開会の辞					
	30	会長講演 9:35～9:55 安藤純子:自分らしく生きるために 座長:今枝奈保美					
10	00	特別講演 10:00～10:50 河野史倫:宇宙医学から見る医療の 新たな視点 座長:安藤純子					
	50						
11	00	教育講演 1 11:00～11:40 伊藤明子:第 46 回フローレンス・ナイ チンゲール記章を受章して 座長:小島登美香					
	40	教育講演 2 11:45～12:25 寺重隆視:AIとともに自分らしく 座長:西川まり子					
12	00						
	25						
13	00		12:30～13:00 理事会	12:30～13:20 ランチョンセミナー 質の高い排泄ケア を目指して 座長:永坂和子 演者:平田 学			
	20	社員総会 13:20～14:00					
14	00		【演者受付】 ・シンポジウム 【座長受付】 ・シンポジウム	一般演題(口演) 14:00～15:20 第Ⅰ群:教育と看護 の質 座長:石川真理子 川北美枝子 O-1-1～O-1-8	一般演題(口演) 14:00～15:10 第Ⅲ群:システム運 営と地域包括ケア 座長:三浦昌子 竹下多美 O-3-1～O-3-7	一般演題(示説) 14:00～15:20 第Ⅴ群:ケアと成果 座長:若園尚美 P-5-1～P-5-5 第Ⅵ群:教育、国際 医療情報の活用 座長:杉下佳文 P-6-1～P-6-5 14:00～15:30 第Ⅶ群:在宅ケアⅠ 座長:西山亜紀 P-7-1～P-7-4 第Ⅷ群:在宅ケアⅡ 座長:山本純子 P-8-1～P-8-4 第Ⅸ群:在宅ケアⅢ 座長:榎田恵子 P-9-1～P-9-4	展示終了
	05			シンポジウム ・打合せ	一般演題(口演) 15:25～15:55 第Ⅱ群:医療の質 座長:伊藤真奈美 O-2-1～O-2-3	一般演題(口演) 15:15～15:55 第Ⅳ群:制度・サー ビス、国際 座長:又吉 忍 O-4-1～O-4-3	
16	00	シンポジウム 16:00～17:30 「自分らしく生きるための実践」 座長:白井麻希、石井英子 1)松本恵美子 自立に向けた訪問看護師の役割 2)永坂和子 尊厳ある排泄・自立した排泄 3)森亮太 上手な病院との付き合い方 4)川西正彦 自立するための福祉と制度の 仕組みの活用				ポスター撤去開始	展示撤去開始
	17	00				17:00 示説撤去完了	17:00 展示撤去完了 情報交換会 会場設営
17	30	閉会の辞 *優秀発表者表彰(口演、示説) 日本ヒューマンヘルスケア学会 第3回学術集会・会長挨拶					
18	00						情報交換会
9							
	30	閉会					

* 閉会式の前に優秀発表者表彰(口演、示説)を行います(会場はA会場)。

プログラム 講演、シンポジウム、共催セミナー

時間	講演、シンポジウム、共催セミナー	会場
	第2回学術集会会長講演	
9:35～9:55	自分らしく生きるために 演者：安藤 純子(人間環境大学看護学部・大学院看護学研究科 教授) 座長：今枝 奈保美(至学館大学健康科学部 教授)	A 会場 (3F 大講義室)
	特別講演	
10:00～10:50	宇宙医学から見る医療の新たな視点 演者：河野 史倫(松本大学大学院健康科学研究科 准教授) 座長：安藤 純子(人間環境大学看護学部・大学院看護学研究科 教授)	A 会場 (3F 大講義室)
	教育講演 1	
11:00～11:40	第46回フローレンス・ナイチンゲール記章を受章して ～赤十字の紛争地域での活動から～ 演者：伊藤 明子(名古屋第二赤十字病院 副院長兼看護部長) 座長：小島 登美香(愛知県看護協会)	A 会場 (3F 大講義室)
	教育講演 2	
11:45～12:25	AIとともに自分らしく 演者：寺重 隆視(広島国際大学 教授) 座長：西川 まり子(人間環境大学看護学部・大学院看護学研究科 教授)	A 会場 (3F 大講義室)
	シンポジウム	
15:50～17:20	自分らしく生きるための実践 座長：白井 麻希(半田市立半田病院 看護局長) 石井 英子(人間環境大学看護学部・大学院看護学研究科 教授) <シンポジスト> 1.自立に向けた訪問看護師の役割 松本 恵美子(一財・名古屋市療養サービス事業団 在宅療養部長) 2.尊厳ある排泄・自立した排泄 永坂 和子(人間環境大学看護学部・大学院看護学研究科 講師) 3.上手な病院との付き合い方 ～最期を自分のお家…特別室で迎えるために 森 亮太(医療法人八事の森 理事長 NPO 法人ささしまサポートセンター 理事長) 4.自立するための福祉と制度の仕組みの活用 川西 正彦(日本 ALS 協会愛知県支部 顧問)	A 会場 (3F 大講義室)
	共催セミナー (ランチョンセミナー)	
12:30～13:20	ランチョンセミナー 質の高い排泄ケアを目指して 座長：永坂 和子(人間環境大学看護学部・大学院看護学研究科 講師) 演者：平田 学 (ユニ・チャーム)	C 会場 (4F 講義室 2)
	情報交換会	
18:00～19:30	学会会員情報交流	F 会場 (1F ラウンジ)

プログラム 一般演題(口演)

14:00～15:10 第Ⅰ群 「教育と看護の質」

[C会場] 4F 講義室2

座長 : 石川 眞理子 (医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院)
川北 美枝子 (人間環境大学看護学部)

番号	演題名	発表者
O-1-1	看護体験談の語りをレリヴァンス概念の応用で質的アプローチ —理論的特徴と意義—	内藤直子, 山中恵利子, 関永信子, 田村博美, 徳珍温子, 藤田和加子, 浦上諒子
O-1-2	看護体験談の質的分析 —当事者の主観的意味の世界をリアルに描き、体験談に潜んでいる「看護の知」を掬い出す—	山中恵利子
O-1-3	健康系大学における教育方策研究 —障がい当事者による講話を中心にしたアクティブラーニング授業の設計—	今枝奈保美, 森 美親, 木村具子
O-1-4	手術室看護師におけるお迎え入室・送り退室の実施件数の増加に向けて	坂口 葵, 佐野弥穂, 手島未琴, 蜷川さおり, 稲生智代
O-1-5	気管切開後から患者が声を取り戻すまでの看護を振り返って	金子沙弥香, 市野良子, 杉浦有希実
O-1-6	A 病院における救命救急センターでのデスカンファレンスの効果	戸田亜沙美, 岩崎 翼, 内館由貴, 高澤那美, 杉浦真紀
O-1-7	下部尿路機能障害を有する患者抽出への取り組み～排尿ケアチームへの依頼増加を目指して～	伴 美里, 山本けい子, 榎原直美, 前園彩音, 牧 和美, 古川 亨

15:15～15:55 第Ⅱ群 「医療の質」

[C会場] 4F 講義室2

座長 : 伊藤 眞奈美 (国立長寿医療研究センター)

番号	演題名	発表者
O-2-1	End of Life care チームの活動と今後の課題 ～End of Life care チームから Advance Care Planning チームへの変更～	石川和美, 長田芳行, 下里万里子, 小原昌代, 山本園子, 猪飼理恵, 木村 幸, 三坂美帆
O-2-2	長期入院中の切迫早産妊婦の夫の思いと夫に対する援助の検討	近藤優海, 富田麻衣, 朝岡みゆき
O-2-3	切迫早産による長期安静入院の妊婦の心理	渡邊有希, 富田麻衣, 朝岡みゆき
O-2-4	ケアミックス病院の病床機能別転倒転落の現状 D I N Q L データ・ヒヤリハット報告より	松原紀子, 久米淳子

プログラム 一般演題(口演)

14:00～15:20 第Ⅲ群 「システム運営と地域包括ケア」
 座長 : 三浦 昌子 (名古屋大学医学部附属病院看護キャリア支援室)
 竹下 多美 (国立病院機構名古屋医療センター)

[D会場] 4F 講義室 3

番号	演題名	発表者
O-3-1	看護師の疲労度に関する文献からみる研究の動向	楠本順子, 藤井晃子, 石川和美, 藤原奈佳子
O-3-2	急性期病院の退院支援の実績報告	服部志子, 小澤いずみ, 木下智美, 川崎香奈子
O-3-3	誤嚥性肺炎で入院した高齢者の退院時における嚥下機能と身体状態 —在宅療養移行期による課題—	榎田恵子, 福田由紀子, 島内 節, 神野洋輔
O-3-4	急性期病院における退院調整 ～独居で半身不全麻痺のある腹膜透析患者の在宅移行支援～	吉田千世
O-3-5	15年間車上生活を送っていた食道がん患者の気管切開後退院に向けての意思決定支援	岩月志帆, 児嶋 愛, 谷澤友美, 金井香世子
O-3-6	在宅生活を継続させるために —家族にまで目を向けたケアプランの立案を—	小村一左美
O-3-7	地域在住要支援・要介護高齢者への排尿アセスメント・ケアプロトコルの作成	横山剛志, 永坂和子, 梅本美月, 吉野 孝
O-3-8	在宅移行の患者に対する病棟看護師とMSWの共同退院支援評価	三浦慎太郎, 島内節, 山本純子

15:25～15:55 第Ⅳ群 「制度・サービス、国際」
 座長 : 又吉 忍 (椋山女学園大学看護学部)

[D会場] 4F 講義室 3

番号	演題名	発表者
O-4-1	「外国人患者受入れ医療機関認証制度」認定施設の特徴と取り組み	藤井晃子, 石川和美, 楠本順子, 藤原奈佳子
O-4-2	電話による育児相談の相談記録からみた構成要素の特徴と構造	奥川ゆかり, 森美智子, 倉田節子
O-4-3	モンゴルにおける NGO を通じた MSM の HIV 予防活動	市川誠一, 塩野徳史, 金子典代, 高久道子, Erdenetuya G., Myagmardorj D., Nyampurev G., Davaalkham, J.

プログラム 一般演題(示説)

14:00～14:40 第V群 「ケアと成果」

[E会場] 6F 実習室

座長 : 若園 尚美 (名古屋大学医学部付属病院看護部)

番号	演題名	発表者
P-5-1	高次脳機能障害に対する「遊びリテーション」の効果 －日常生活リズムの改善・活動性・意欲変化の分析－	松崎恭子
P-5-2	介護老人保健施設の認知症入所者への選択的支援ケア プログラムの有効性 －入所者とケア提供者への効果－	中谷こずえ, 臼井キミカ, 兼田美代, 小寫健仁
P-5-3	関節リウマチのセルフコントロールの介入 －補完代替療法の一つとして「整膚」の試み－	川北美枝子, 山本純子, 鈴木岸子, 水野サヨ子
P-5-4	A市在住高齢者における転倒経験、骨折、転倒による 恐怖感の認識について	原田英子, 金井 章, 永井邦芳, 石井英子
P-5-5	高齢者への身体拘束に関する文献検討	金城周平, 安藤純子

14:40～15:20 第VI群 「教育、国際、医療情報の活用」

[E会場] 6F 実習室

座長 : 杉下 佳文 (人間環境大学看護学部・大学院看護学研究科)

番号	演題名	発表者
P-6-1	妊娠期における EPDS 試行結果からの一考察	野田みや子, 河田美紀, 石井英子
P-6-2	シチュエーション・ベースド・トレーニングのための 教育環境 ー日・韓・米ー	安藤純子
P-6-3	海外在留邦人家族の健康問題に関する文献レビュー ー妻・母親・子どもに焦点をあてて	安達美穂, 西川まり子, 市川誠一
P-6-4	高ストレス者の選定基準(条件イ)と抑うつ尺度質問 票 CES-D との関連についての検証	足立勝宣, 石井英子, 井奈波良一
P-6-5	中小規模病院における看護実践環境の捉え方と定着 可能性との関連	吉田文代, 野口一重

プログラム 一般演題(示説)

14:00～14:30 第Ⅶ群 「在宅ケア-I」

[E会場] 6F 実習室

座長 : 西山 亜紀 (訪問看護ステーション豆大ふく)

番号	演題名	発表者
P-7-1	ALSをもつ人の生活改良等の視点に立ったQOL向上の考察	石井英子, 原田英子, 足立勝宣, 野田みや子, 安藤純子, 藤原奈佳子
P-7-2	高齢者の社会活動が維持できる長寿社会のしくみづくりー男性高齢者サロン開設1ヶ月目の思いー	松田武美, 山田美穂, 西嶋 力, 安藤純子, 山地隆文
P-7-3	在宅ケア開始期のがん患者と訪問看護師による療養生活の問題把握と両者の比較	武田智美, 福田由紀子, 楳田恵子, 島内 節
P-7-4	コミュニティー・スクール実施による地域住民の意識への影響ー「いのちの授業」の実施からー	松原紀子, 青嶋裕子

14:30～15:00 第Ⅷ群 「在宅ケア-II」

[E会場] 6F 実習室

座長 : 山本 純子 (人間環境大学看護学部・大学院看護学研究科)

番号	演題名	発表者
P-8-1	おむつによる排泄ケアの質向上をめざす取り組み	天野加絵, 古橋香代, 泉ゆかり
P-8-2	認知症高齢者の行動・心理症状に関する海外の研究動向	佐久間美里, 湊田英津子
P-8-3	当ステーションにおける在宅での看取りケアの報告	西山亜紀
P-8-4	訪問看護の困難さからみた在宅療養継続に関する看護支援の問題ー母親に依存する精神的な障がいを抱える娘と同居の事例からー	山岡由加利, 長谷川貴代美, 松元花枝

15:00～15:30 第Ⅸ群 「在宅ケア-III」

[E会場] 6F 実習室

座長 : 楳田 恵子 (人間環境大学看護学部・大学院看護学研究科)

番号	演題名	発表者
P-9-1	親の介護と育児が重なる世代の不安感情の要因	山本純子, 川上友美 石井英子
P-9-2	訪問看護サービス新規契約者の在宅ケア開始期における初回緊急対応の医療ケアの特徴	福田由紀子, 島内 節, 市川誠一, 又吉 忍, 竹内貴子, 神谷智子, 杉浦美佐子
P-9-3	看護師が患者の困りごとを地域につなぐ意義	福島みさ代
P-9-4	DNA R意思表示のある終末期患者の救急搬送に関する文献検討	北村美恵子, 福田由紀子

運 營 組 織 (敬称略・五十音順)

学術集会会長 安藤 純子 人間環境大学看護学部

学術集会事務局 市川 誠一 人間環境大学看護学部
 松原 紀子 人間環境大学看護学部

企画・実行委員

学術集会会長 安藤 純子 人間環境大学看護学部
委員長 市川 誠一 人間環境大学看護学部
副委員長 松原 紀子 人間環境大学看護学部
委員 石井 英子 人間環境大学看護学部
 石川 眞理子 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
 川北 美枝子 人間環境大学看護学部
 小島 登美香 公益社団法人 愛知県看護協会
 白井 麻希 半田市立半田病院
 杉下 佳文 人間環境大学看護学部
 竹下 多美, 国立病院機構名古屋医療センター
 内藤 直子 人間環境大学看護学部
 永坂 和子 人間環境大学看護学部
 西川 まり子 人間環境大学看護学部
 藤原 奈佳子 人間環境大学看護学部
 深谷 久子 人間環境大学看護学部
 三浦 昌子 名古屋大学医学部附属病院看護キャリア支援室
 森 美智子 人間環境大学看護学部

査読委員 安藤 純子、 石川 眞理子、 市川 誠一、 川北 美枝子、 小島 登美香、
 白井 麻希、 竹下 多美、 内藤 直子、 永坂 和子、 西川 まり子、
 藤原 奈佳子、 松原 紀子、 三浦 昌子

共催の法人・企業一覧（敬称略・五十音順）

第2回学術集会の開催にあたり多くの法人や企業様よりご支援をいただきました。
ここに厚く御礼を申し上げます。

○学術集会助成・教育助成

公益財団法人 セコム科学技術振興財団
ファイザー株式会社

○共催セミナー（ランチョンセミナー）

ユニ・チャーム株式会社

○企業展示

株式会社 UGA & Co.
東洋羽毛東海販売株式会社
株式会社 マイ.ビジネスサービス.
ユニ・チャーム株式会社
株式会社 リブドウコーポレーション□

○喫茶コーナー

東洋羽毛東海販売株式会社

○広告

株式会社 エヒメ医療器
学校法人 河原学園
株式会社 クイックス
コクヨマーケティング株式会社 中部支社
一般財団法人 名古屋市療養サービス事業団
株式会社 マイ.ビジネスサービス.
株式会社 八神製作所
ユニ・チャーム株式会社
株式会社 リブドウコーポレーション